

# 平成21年第5回（9月）吉川市議会定例会

## 一般質問通告書

9月18日（金）			
質 問 者			
通告第 1号	2番	中嶋 通治	
通告第 2号	5番	稲垣 茂行	
通告第 3号	12番	互 金次郎	
通告第 4号	13番	五十嵐 恵千子	
通告第 5号	14番	小野 潔	

9月24日（木）			
質 問 者			
通告第 6号	11番	高野 昇	
通告第 7号	10番	佐藤 清治	
通告第 8号	16番	斎藤 詔治	
通告第 9号	18番	遠藤 義法	

9月25日（金）			
質 問 者			
通告第10号	19番	小林 昭子	
通告第11号	4番	安田 真也	
通告第12号	6番	伊藤 正勝	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 2番 中嶋 通治	1 都市基盤の整備について	1 新駅設置に伴うアクセス道路の整備について 2 新栄大場川沿いの道路整備について	市長 担当部長
	2 子育て支援策の拡充を	<p>市では今年度、「次世代育成支援対策地域行動計画」の後期計画を策定することですが、今後の子育て支援においては、保育所の待機児童の対策や子育て支援センターの増設など、子育てと仕事の両立や地域で安心した子育てができる環境づくりが一層必要となってくると考えられます。</p> <p>とりわけ、働きながら子育てをしている親にとって最も困ることは、子どもが病気の時の対応だといわれております。仕事を休めない保護者に代わり、子どもが安心して静養できる環境のもと、看護と保育を行う病児・病後児保育事業は、最も優先して実施しなければならない保育サービスであると考えます。</p> <p>当市では、病児・病後児保育事業は、まだ実施には至っておりませんが、今後の見通しについて伺います。</p>	市長 担当部長
通告第2号 5番 稲垣 茂行	1 衆議院選挙結果をどう受け止めているのか	<p>8月30日の衆議院選挙(第45回)に於いて、民主党が308議席という圧倒的勝利を収め、同党を中心とする政権の樹立が決まりました。自民党は第1党から転落、議席が激減する壊滅的大敗を喫し、自公連立政権は瓦解しました。</p> <p>このことをどう受け止め、これから起こりうる変化の中で自治体運営をどう考えているのか、市長としての見解を伺いたい。</p>	市長
	2 新型インフルエンザ対策について	<p>新型インフルエンザ対策について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内及び近隣市町の発生状況と感染拡大防止対策について</li> </ul> <p>①医師会との連携(連絡会)、訪問介護サービス(通所施設閉鎖時)、市立保育所の一時預かり(緊急保育)、マスクの配布、一人暮らし高齢者への支援等は</p> <p>②市職員並びに消防等職員への、感染・拡大防止対策</p> <p>③消防組合との連携(救急搬送・近隣病院への協力要請)</p>	市長 担当部長
	3 治水対策について	<p>河川改修、調節池(調整池)の設置、排水路の改修整備、排水ポンプ等の設置状況について伺います。</p> <p>①大場川・第2大場川の改修状況と今後の予定</p> <p>②駅南調節池との関係</p> <p>③栄町、保地区(大字保)一帯のゲリラ的豪雨対策としては、第2大場川隣接地に調整池を設置することが必要かつ有効な対策と考えるが、市の見解は</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第2号 5番 稲垣 茂行	4 障害者自立支援法と介護保険制度について	障害者自立支援法に基づくサービス利用を受けている方が介護保険へ移行する際の、認定とサービス利用の関係について伺います。また、障害者福祉サービスと介護保険サービスとの関係は。	担当部長
通告第3号 12番 互 金次郎	1 訪問理美容サービス事業について	<p>当市の訪問理美容サービス事業は、平成19年度に利用者が少ないこと、また、民間の理美容サービスもあり市の関与が薄れてきているとの判断で廃止されました。しかし、高齢化が進む中、限られた施設には入所できず在宅介護の方々が増加しています。</p> <p>事業内容を検討し、きめ細やかな事業周知を行い、より使いやすいサービスとして検討してはいかがでしょうか。ご見解は。</p>	市長 担当部長
	2 被災者支援システムの構築について	<p>災害発生時における行政の素早い対応が復旧・復興には不可欠です。被災時に、被災者の氏名、住所などの基本情報や被害状況、避難先、被災者証明書の発行などを総合的に管理する被災者支援システムを平時のうちに構築しておくことが重要であると考えます。</p> <p>総務省の外郭団体である(財)地方自治情報センターが実施している「地方公共団体業務用プログラムライブラリ」に、兵庫県西宮市が開発した「被災者支援システム」が第1号として登録されました。これによって、全国の地方公共団体が無償でこのシステムを簡単に入手でき、災害時の緊急対応の際の利活用が可能になりました。当市の被災者支援システムの構築状況と当該システムの利活用のご見解は。</p>	市長 担当部長
通告第4号 13番 五十嵐恵千子	1 都市計画道路(越谷吉川線)整備の進捗状況と雨水対策について	吉川中央土地区画整理事業により施行する区間が現在さくら通りから整備が実施されています。建物移転を進めながら継続的に実施されると伺っていますが、進捗状況と今後の実施計画についてお伺いします。また、都市計画道路南側の既存道路と周辺についてですが、大雨の時は道路冠水し、過去に浸水被害にあった住宅も少なくありません。当該区間の雨水対策についても計画をお聞かせ下さい。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第4号 13番 五十嵐恵千子</p>	<p>2 「緑のカーテン」事業を促進し、快適な室温づくりを</p>	<p>温暖化防止対策として、当市は環境配慮率先実行計画「エコオフィス吉川」を策定し全職員で取り組まれています。</p> <p>①平成20年度の総括と今後の課題についてお伺いします。</p> <p>②各公共施設のエアコン（冷房機器）使用状況と室内の設定温度は。</p> <p>③つる性植物を利用した「緑のカーテン」は日光を遮る効果と、植物が水蒸気を放出する蒸散作用で、状況によりますが、室温を5℃前後下げる効果があると伺っています。多くの市民が利用する公共施設等で積極的な取り組みをし、快適な室温づくりをすべきと考えます。ご見解をお聞かせ下さい。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第5号 14番 小野 潔</p>	<p>1 集中豪雨による水害対策について</p> <hr/> <p>2 吉川新駅設置について</p>	<p>さる8月10日、集中豪雨により道路冠水、床下浸水、床上浸水の被害が起きました。特に駅周辺、駅南地域の道路冠水等の被害は多大なるものでありました。</p> <p>昨年起こりましたゲリラ豪雨（雨量55ミリ）時の被害より今回の集中豪雨（雨量38ミリ）の被害のほうが大きいのではないかと思います。そこでお伺いいたします。</p> <p>①被害の状況について</p> <p>②この原因について</p> <p>③今後の対策について</p> <hr/> <p>6月議会の全員協議会において、協定書の締結についてと、「自然と人と共に生きる駅」とのコンセプトのもとテーマを「森の駅」として基本設計が発表されました。市民の皆さんへは広報よしかわ7月号にて紹介されておりました。市民の皆さんの関心も高く様々なご意見、要望も聞いております。</p> <p>そこで下記の5点についてお伺いいたします。</p> <p>①新駅設置への進捗状況と見通し。</p> <p>②かねてより公明党市議団は「森の駅構想」と共に「文化・芸術を感じられる新駅づくりを」と提案してまいりました。市のお考え方をお伺いいたします。</p> <p>③自由通路の幅を広く取ってはとの要望があります。計画では5メートルとなっていますが、どのような決め方をしたのか教えて下さい。</p> <p>④自由通路に市のインフォメーションを設置しては。</p> <p>⑤自由通路の壁を利用して広告収入を考えては。</p>	<p>市長 担当部長</p> <hr/> <p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第5号 14番 小野 潔	3 シックスクール問題対策について	近年、学校等において、ホルムアルデヒド等の化学物質に汚染された室内空気によって、目がチカチカする、頭痛やめまいがするなどの様々な体調不良を生じるいわゆるシックハウス症候群が社会問題化しています。先日市内の小学生の保護者の方からこの問題の相談がありました。そこでシックスクール問題についての対応をどのように行っているかお聞かせ下さい。	教育長 担当部長
通告第6号 11番 高野 昇	1 米価暴落、市内農家の状況と求められる対策は	まもなく稲の刈り取り時期を迎えるときに、米作りを危うくする重大な事態が起きています。九州や四国の超早場米地帯で出荷された米の価格が、昨年産より10～20%も暴落し、農家は、労賃分だけでなく機械の償却費や肥料代などもまかなえない、深刻な事態がひろがっています。 ①市内農家が出荷予定の今年の米の価格動向についてはどうか ②米価下落に対し、市として国・県に求める対策は ③市としての独自の対策は	市長 担当部長
	2 食料自給率向上へ、必要な施策は	日本は、食料自給率がわずか40%、先進国の中でも異常な低さです。今世界は食料危機のなかにあり、「お金を出せば世界中から食料を買い集めることができる」という時代は終わりを告げています。農林水産省は、平成29年にカロリーベースの食料自給率を現在の40%から50%に引き上げることを目標に掲げています。市として、この目標の達成を可能と考えるか、又目標達成のためには、国においてどのような施策が必要と考えるか、お伺いします。	市長 担当部長
	3 日米FTA（自由貿易協定）とは、市の考えは	総選挙で民主党が大幅に議席を増やしたが、マニフェストでアメリカとの自由貿易協定（FTA）の締結を打ち出しており、農業者や消費者の反発を呼んでいます。民主党は批判に驚き、マニフェストで日米FTAの「締結」を「交渉を促進」と書き換えたものの、中身に変わりはありません。農水省は、農産物輸入を完全に自由化すれば食料自給率は12%に下がると試算しています。日米FTA（自由貿易協定）とは何か、それに対する市の考えは。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第6号 11番 高野 昇</p>	<p>4 県の「みどりと川の再生」事業、市としての活用は</p>	<p>上田県知事は、「みどりと川の再生」を知事選時の公約の柱に掲げ、現在「川の国 埼玉」を目指して「水辺再生100プラン」を推進しています。</p> <p>吉川市にとって、河川、農業用水、排水路等の整備は、市民からも切実に求められている課題であり、早急な整備が求められています。県の事業で活用できるものは活用し、市民要望に積極的に応えるべきと考えます。</p> <p>①県の「水辺再生100プラン」では、吉川市の河川で大場川、農業用水で東大場川が平成21年度実施箇所として位置づけられている。県民からの提案にもとづく事業箇所の選定とのことであるが、どのような提案であったのか、又、計画や工事の内容は。</p> <p>②平成22年度に新たに水辺再生事業に着手する箇所を募集することになっているが、市としてこの事業を活かす考えは。</p> <p>③桜並木沿いの木売り落しについて、二郷半用水の農業用水を浄化用水として導水し、整備するよう求めてきましたが、その後の進捗状況はどうか、又、県の事業の活用も考えるべきではないか。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第7号 10番 佐藤 清治</p>	<p>1 衆議院議員選挙の結果について</p>	<p>8月30日投票の選挙で自公の連立政権は大敗した。市長はこの選挙で示された国民・市民の民意についてどのような感想をもっているのか伺います。</p> <p>新しく誕生する政権に何を期待するのか伺います。</p>	<p>市長</p>
<p>2 比例定数の削減について</p>	<p>民主党は今度の選挙で5つの約束をしますとしてその第1にムダづかいをなくすとしています。その中で衆議院定数80削減があげられていますが内容的には比例代表を減らすということのようです。</p> <p>比例代表の定数を削減することは国民の声がますます政治に反映しなくなると思いますが、市長の見解を求めます。</p>	<p>市長</p>	
<p>3 高速道路無料化について</p>	<p>高速道路の無料化に多額の税金を注ぎ込むことが「税金の使い方」として適切と考えるのか伺います。</p> <p>むしろ、教育や福祉を税金の使い方として優先すべきではないか。</p> <p>市長はどのように考えているのか伺います。</p>	<p>市長</p>	
<p>4 国保税の引き下げについて</p>	<p>国保税の負担が重いとの声が私たちが毎年行うアンケートにたくさん寄せられる。国保税が払いたくても払えない、引き下げをして欲しいとの声に応えるべきではないか。</p> <p>税の減免、一部負担金の減免についてより拡充することが求められているのではないか。</p>	<p>市長 担当部長</p>	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第8号 16番 斎藤 詔治</p>	<p>吉川新駅（仮称）は、新しい市の顔・玄関です。もっと広く、もっと利用しやすい素晴らしい駅への変更は。</p>	<p>1 武蔵野線（仮称）吉川新駅に設置される都市施設、吉川市管理の自由通路は、現在の計画では狭すぎます。吉川市の玄関口として将来を考え、もっと幅を広くしていただきたい。同様に昇降口も大きく見直し変更をお願いしたい。</p> <p>あわせて、暫定駅前広場の設置についても広く駅前整備をお願いします。現計画では広場面積3,000㎡（900坪）です。10,000㎡程の面積を確保し、新駅開業にあわせ整備いたすことがよいと考えますが伺います。</p> <p>2 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が所有する旧コントロールセンター跡地、吉川市内13,966㎡（4,224坪）三郷市采女新田地内4,052㎡（1,225坪）の土地の取得をお願いいたします。</p> <p>3 操車場跡地処分について、吉川市は鉄道運輸機構に対し、どのような要望をしてくれていますか。今後についても伺いたします。</p> <p>4 新駅周辺開発は当初計画より、遅れて推移している状況と思われますがいかがか伺いたします。</p> <p>積極的に地権者の合意形成はもちろん、市民のまちづくりに対する声を取り入れながら、なおかつ埼玉県や国の要望等を踏まえた、活力あるまちづくりを目指してはいかがか。</p> <p>行財政改革を推進している本市として、積極的なまちづくりを実施することは、財政状況からして困難な状況と思います。</p> <p>ここで、戸張胤茂市長自ら先頭に立ち、新聞への掲載・テレビによる報道・吉川市のホームページ等により、吉川市のまちづくりを多くのマスコミ機関・関係者をお願いをしてみたいかがか、市の多くの財政負担が伴わないまちづくりは可能と思いますが伺いたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第9号 18番 遠藤 義法</p>	<p>1 安心と希望ある社会実現のために</p>	<p>貧困と格差、雇用不安、子どもを大事にしない社会、将来展望が見いだせない社会。ますます深刻となる状況に市民はいまと将来を憂えている。市民が心穏やかに、安心して暮らすことができ、将来に希望の持てる社会をつくるために市長、教育長の現状認識と改善点、自ら実施すべき施策と国への働きかけについて伺います。</p> <p>(1) 子どもを産み育てることができる環境づくり</p> <p>①出産費用の軽減、健診業務と費用負担軽減策の継続 ②保育所の増設と待機児童ゼロの取り組み ③幼稚園の費用負担軽減策 ④高校授業料の無償化</p> <p>(2) 義務教育における人格形成上の問題点と課題、今後の取り組み</p> <p>(3) 雇用の現状と問題点、労働者派遣法などを改正し正社員があたりまえの社会、労働条件の改善</p> <p>(4) 老後安心の社会づくり</p> <p>①後期高齢者医療制度の廃止 ②医療費の負担軽減 ③最低保障年金制度の創設で無年金・低年金の解消を ④社会参加ができる行き届いた交通網の整備、交通手段の確保を</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
	<p>2 家庭系ゴミ有料化はすべきでない</p>	<p>吉川市廃棄物減量等推進審議会から「家庭系ゴミ有料化の具体的方策について」の答申がだされ、平成22年度中の家庭系ゴミの有料化実施を求めている。この答申は平成17年11月の「有料化以外のごみ減量方策を実施、その効果を検証したうえでごみ減量効果が表れなかった場合に導入すべき方策である」との答申を受けたものである。しかし、ゴミ有料化が本当にごみ減量に継続して効果が表れるのか、各自治体の経過も含めお伺いします。</p> <p>①温室効果ガスの発生抑制はごみ焼却の問題であり、ゴミ発生量そのものを減らす取り組みが求められている。ゴミ発生量抑制策とこの間の取り組みは。 ②ごみ減量方策実施項目とそれを限界としたのはなぜか。 ③ゴミ有料化実施後のリバウンドの見通しは。 ④「有料化自体がゴミを減量化するとは考えていない。循環型社会に向けた新たな財源の確保」だという自治体もある。吉川市の見解は。 ⑤有料化への段取りと市民の理解を得るための取り組みは。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第10号 19番 小林 昭子	1 肺炎球菌ワクチンに対する公費助成	肺炎球菌は体力が落ちている時や、高齢になって免疫力が弱くなってくると病気を引き起こすとされ、引き起こす主な病気として、肺炎、気管支炎、中耳炎などがあるといわれています。この病気を予防するワクチン（8,000円）の予防接種費用に対して助成を。	市長 担当部長
	2 三輪野江バイパス	1 開通に伴う安全対策、県道の出入口、南側道路交差部分の信号機設置など。 2 吉川の上風景と言われた地域に、道路側に資材置場等が乱立し、市長は、この地域にどのような地域づくりのイメージをもっているのか明確にし、少なくとも従来の景観を損なわない努力をすべきでは。	市長 担当部長
	3 生活道路の整備充実	1 高齢者がシルバーカーを押しても歩くのが危ない。子どもを自転車に乗せて走っていても、田の側は落ちそうになる道、市民からの改善を求める声を反映でき、生活道路を大事にする視点を。 2 常磐道下の北側（定勝寺南側）の水路（ふたかけ）部分を歩道として整備開放し、近隣住民の利便性と安全を。 3 栄町、保、中野一帯の歩道のガタつき（水路ぶた）は日々の市民生活に不快。ていねいに実態調査し、改善を図っていただきたい。	市長 担当部長
通告第11号 4番 安田 真也	1 魅力ある農業のために	主に、認定農業者制度について ① 制度導入時から現在までに至る件数の推移（個人・団体） ② 現在の年齢別人数 ③ 制度導入時から現在までを総括しての所見 ④ その他、「新規就農支援」の現状・実態と問題点 ⑤ 農業行政全般に関する市の所見（減反・後継者・米価など）	市長
	2 「子どもパワー」について	① 今回の学力テスト結果についての分析 ② 「学力テスト」そのものの必要性について （学力向上に役立っているのか。そもそも必要なのか。抽出方式導入の声もあるが……。生徒のみならず、教師の質向上につながっているか。）	教育長
	3 満足度100%を目指して	① 各部署が市民に接するさいに気をつけていることは。 ② 役所の「先例主義」についての見解 ③ 職場にもっとスマイルを！！	市長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第12号 6番 伊藤 正勝	1 「新駅」その後	1 現在の進捗状況。今後のスケジュールと変更は。 2 地区計画の内容とポイント。 3 負担額の支払い内容及び時期。 4 東西（南北）の駅広場のイメージ概要と考え方（まちづくりと利用者の利便、活用の視点で）。 5 新駅のアクセス、誘導策についての考え。 6 駅名の大切さ。市民意見の反映の方策と考え方。JRの意向や制約は。	市長 担当部長
	2 「駅南」整備状況	1 公園、調整池、導水路（武操跡、周辺整備含め）。 2 小中学校用地の購入方法、時期、金額見込み。 3 開発公社所有地への市（町）負担の累計は。	市長 担当部長
	3 「中央土地」整備状況	1 調整地整備の進捗状況。 2 公園整備の今後年次計画は。 3 25m道路の進捗と今後の見通し。移転の状況。留意点は。課題は。	市長 担当部長
	4 「市借用地」実状と考え	1 実状。 2 買い上げの時期、累計。 3 基本方針。 4 市街地と調整地の違いは。	市長 担当部長
	5 「建設中」の懸案について	1 吉川橋、新川橋整備と関係道路整備の現状及び推進方策は。 2 新トンネル（3・3・4号線）の開通は。	市長
	6 「総選挙」の民意をどう受け止めているか等	1 官から政へとは。吉川市政運営の基本は。 2 6月議会一般質問休憩直後の「副市長発言」の真意について。 ①開発公社問題なのか。 ②消防長人事問題なのか。 3 不穏当発言の限度と許容範囲をどう考えるか。	市長 副市長